

What's on, Kyodokodo

2010.9.17
No.31



CONTENTS

共同行動からのお知らせ

- 医療安全全国フォーラムのホームページができました
- 8目標に関する活動報告の発表をお願いいたします
- 参加登録病院の皆様へ——マイページに2年目評価の入力画面がUPされました

参加・協力団体の活動紹介

- 石川県医師会の活動

支援ツールお知らせ

- 目標6「緊急処置マニュアル」を追加しました

フォーラム・セミナー等のご案内

Q&Aをアップしました

- 目標3b「危険手技の安全な実施—中心静脈カテーテル」

ひとつことアドバイス

- 周術期肺塞栓症の防止(目標2)

- 成功事例・参考事例を募集しています

→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内

- 質問・提案をお寄せください→ advice@ppscamp.net

- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします

→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>

お問い合わせは toHSMR@ppscamp.net

- 参加登録病院用のバナーができました!

→ [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)

- 参加登録方法に関するQ&A→ <http://kyodokodo.jp/faq.html>

参加登録事項変更等に関するQ&A

→ [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)

- キャンペーンポスターをご利用ください

完成版→ http://kyodokodo.jp/shiryoku_koho.html

基本デザイン→ [パートナーズ専用ページ/メニュー](#)

共同行動からのお知らせ

医療安全全国フォーラム(11月26~27日)の

ホームページができました☞ <http://forum2010.ppsqsh.net/>

- ・ ホームページからの事前参加登録・発表登録が可能になりましたのでご案内いたします。
参加・発表のお申し込みは、ホームページの申し込みフォーム、またはFAX(申し込み書をダウンロードしてご利用ください)のいずれでも結構です。
- ・ プログラムのご案内を随時更新しますので、時々ホームページをご覧ください。

8目標に関する活動報告の発表をお願いいたします

共同行動の8つの目標に関する取り組みの成果や教訓を交流・共有するために、貴病院の取り組みを全国フォーラムでご紹介ください(活動の成果や教訓、成功の秘訣など)。

- ・ 発表はポスターをお願いいたします。
 - ・ 発表募集：9月30日(木)までにお申し込みいただきますようお願いいたします。
 - ・ 事前参加登録と併せてお申し込みください。
 - ・ お申し込みいただいたあと、10月12日(水)までに抄録(発表要旨)をメールでご送付いただきますようお願いいたします(抄録作成要領は <http://forum2010.ppsqsh.net/youryou.doc> をご覧ください)。
 - ・ 発表方法：11月26日(金)の目標別セッション(14:00~15:30)で発表と質疑をお願いいたします。
- * 他の病院の参考になる優れた活動事例を表彰させていただきます。

参加登録病院の皆様へ——マイページに2年目評価の入力画面がUPされました

貴院の〈マイページ〉から下記の入力をお願いいたします。

- ・参加登録時に入力いただいた「基礎データ」の再入力
- ・登録いただいた行動目標に関する取り組み内容とこれまでの成果の要旨 (目標別)
- *お問合せは共同行動支援事務局 shienjimu@kyodokodo.jp まで。電話：022-717-8196

参加・協力団体の活動紹介

石川県医師会の活動

石川県医師会の医療安全活動

石川県医師会では、「県民のいのちを守る」をテーマに、各種施策を実行しております。

◇いのちのリボン

平成16年、混合診療導入の是非が議論されていた頃、石川県医師会として「いのちはみんなが授かったかけがえないもの。みんなの大切ないのちだから、受ける医療に格差があってはなりません。いのちのリボンをつけて私たちは約束します。みんなのいのちを生涯かけて守ることを」との趣旨のもと、その証として「いのちのリボン」を制作し、石川県医師会役員・会員を中心に、県内の医療関係団体、日本医師会や全国都道府県医師会長の先生方のご理解を得て、診察時や種々の会議、行動の際に胸に付けております。



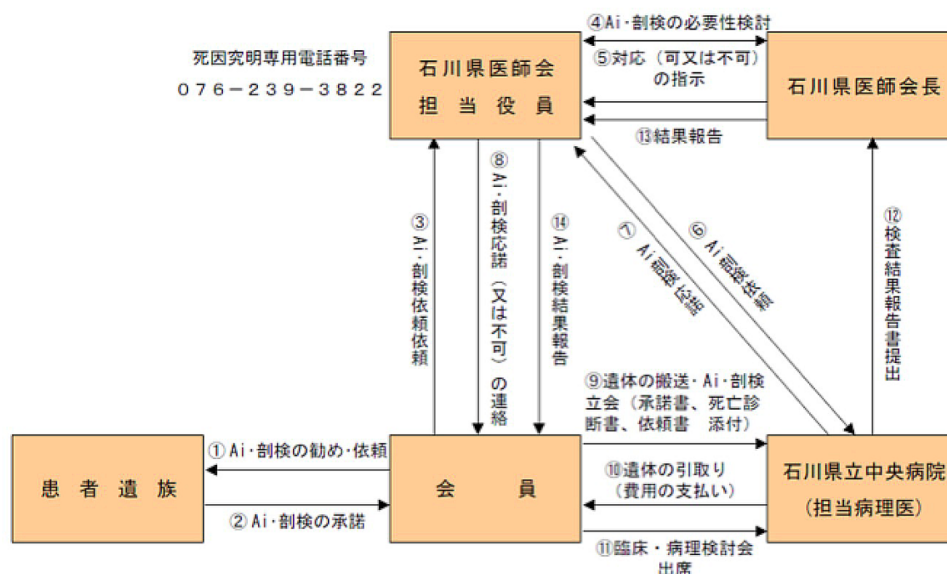
◇死因究明システム

近年、異常死の問題がクローズアップされ、一定の割合で起きる医学的に避けることのできない不幸な結果に対して罪を問われる可能性が高くなってきております。

こうした中で、石川県医師会では平成18年に、死因や医療ミスの有無を明らかにする仕組みを整えることで、患者さんと医師の信頼関係を築くことを目的に死因究明システムを導入、県内の病院や診療所で亡くなった患者さんに対して遺族から医療ミスが疑われた場合、県立中央病院で遺体を解剖し、その原因を究明するシステムを構築したところであります。

平成20年からは、より遺族に配慮することとし、剖検に加えAi(オートプシー・イメージング、死後画像診断)も導入しております。

石川県医師会死因究明システム：フロー図



◇医療安全全国共同行動 石川フォーラムの開催

安全な医療の実現のため、医療に従事するすべての職種、団体等が立場を超えて一丸となって医療安全対策に取り組んでいる実際を広く県民に周知することを目的に、医療安全全国共同行動石川フォーラムを開催しております。

開催にあたっては、石川県内の医療、介護等に携わる各種の団体や患者団体、婦人団体、住民団体等で構成している「石川県医療推進協議会」を母体として、職種を問わず幅広く対象としております。

*参加・協力団体の活動紹介は、[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「パートナーズの活動」](#) → [「参加・協力団体の活動紹介」](#) からご覧ください。

支援ツールのお知らせ

目標6「緊急処置マニュアル」を追加しました

目標6 [推奨対策1] の緊急処置マニュアルに以下を追加掲載しましたのでご案内いたします。

- ・低血糖性昏睡
- ・急性上気道閉塞
- ・尿閉
- ・空気塞栓事例

目標6のツールはほかに [推奨対策4] の「早期発見・早期対応を可能にするRRSの態勢作りのガイド(米国100KのRRSスターターキット)」、「NDPリスク因子予知分析(PRA)の参考例」がアップされています。どうぞご活用ください。

各目標別の支援ツール(TOOL BOX)の内容は、「8つの行動目標と推奨する対策」のページから「各支援ツールの内容一覧は [こちら](#) からご覧いただけます」をクリックしてください。なお、ご覧になる際にはあらかじめ「閲覧登録」(無料)が必要です。簡単な登録でどなたでもアクセスできます。[「8つの行動目標と推奨する対策」](#) のページから、[閲覧登録はこちら](#) をクリックしてください。

* [公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「8つの行動目標と推奨する対策」](#) → 「支援ツール一覧/各行動目標/TOOL BOX」 → 登録のうえ、お入りください。

フォーラム・セミナー等のご案内

全国フォーラム

医療安全全国共同行動 全国フォーラム

日程: 11月26日(金)・27日(土)

会場: 幕張メッセ国際会議場 <http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>

* 詳細は <http://forum2010.ppsqsh.net/>

地域フォーラム

医療安全全国共同行動 石川フォーラム

日程: 10月3日(日) 14:00～16:00

会場: 石川県医師会館4階研修室

主催: 石川県医師会、石川県医療安全推進協議会、医療安全全国共同行動

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/101003.pdf>

静岡県「平成22年度医療安全管理シンポジウム」

テーマ：行動目標8 患者・市民の医療参加

〈西部地区〉

日時：10月13日(水) 18:00～20:00

会場：浜松市地域情報センター 1階 ホール

*詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/101013.pdf>

〈中部地区〉

日時：11月8日(月) 18:00～20:00

会場：静岡県産業経済会館 3階 大会議室

*詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/101108.pdf>

〈東部地区〉

日時：11月16日(火) 18:00～20:00

会場：サンフロント 9階 ミーティングホール(沼津市)

*詳細は追ってお知らせいたします。

主催 社団法人静岡県病院協会

8目標に関連するフォーラム、セミナー、シンポジウム、講習会

医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門(目標7に関連)

定員に達したため、募集を締め切りました

日程：9月26日(日)〈全5回の最終回〉

会場：自治医科大学付属病院 地域医療情報研修センター

*詳細は http://kyodokodo.jp/event_list.html

第12回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in名古屋(すべての目標に関連)

フォーラムは当日参加も受け付けています。

共同行動の8目標に関する改善活動の報告がありますので、ぜひご参加ください。

会期：10月1日(金) 12:50～10月2日(土) 17:05

(医療の改善導入推進セミナー 10/1午前中)

会場：名古屋大学 豊田講堂(東山キャンパス)

主催：医療のTQM推進協議会

*詳細は <http://tqmh.jp/INDXTQM.html>

弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

〈旭川地区〉

日時：10月16日(土) 12:30～16:30

会場：旭川市民文化会館 大会議室

〈東京地区〉

日時：10月30日(土) 13:00～17:00

会場：杏林大学 大学院講堂

主催 日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

*各講習会の詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>

第5回医療の質・安全学会学術集会(すべての目標に関連)

会期：11月27日(土)～11月28日(日)

会場：幕張メッセ国際会議場 <http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>

*詳細は <http://www2.convention.co.jp/jsqsh05/>

Q&Aをアップしました

目標3b 「危険手技の安全な実施—中心静脈カテーテル」についての質問と回答をアップしました

- Q. 適応の厳格化はできますか？
- Q. 医師によって手技、使用する機器、材料が異なるため、同じ診療科でも統一することが難しいのですが。
- Q. 抜去日の確認方法は？
- Q. エキスパート認定基準をどう考えますか？
- Q. 医師によってはCVC対象が多く、適応不明で困っています。また、安全なセデーション管理について教えてください。
- Q. リスク評価表を電子カルテに載せようかと考えていますが、対象者をどの範囲にすべきでしょうか？
- Q. CVCのマニュアルがなかなかできません。
- Q. 研修会の講師、特にエコーガイド下での穿刺を指導できる講師がいません。
- Q. インストラクター制度、教育制度の院内統一がなかなかできません。
- Q. 超音波ガイド下セルジンガー法の手技を中心にマニュアルを改正する方向で検討中ですが、超音波の器械購入の許可に時間がかかり、なかなかマニュアルの改正が進みません。
- Q. 上司(医師)がCVCガイドライン作成、教育の統一について積極的ではないので、年間目標に掲げましたが、なかなか取り組めないでいます。医師の協力なしにはできませんが、協力を要請しても自信がないようで、要になる医師の選出も困難な状況です。
- Q. MBPが浸透しません。
- Q. 多数回穿刺が行われています。
- Q. エコー下、透視下でのCVC挿入に関して。エコーの器械が1台しかなく、レントゲンの器械も不足しています。
- Q. チームとしてケアできていません。
- Q. 指針作成、見直し修正、研修医教育、事例収集等実施していますが、問題発見、解決するしくみがありません。
- Q. カルテ記録が不十分です(テンプレートがない:電子カルテ上)。認定医登録不十分、またCVC挿入に伴うインシデント報告も不十分です。
- Q. 1時間も2時間もかけてCVCが入らなったり、医師自身が時間をかけることでのリスクを知らなかったりします。しかし看護師からリスクを伝えると、かえって意地になる医師もいますし、患者さんの前で伝えることで不安を増強させることにもなるので、どうしたらよいのか困ることがあります。
- Q. セルジンガー法への統一をはかりたいのですが、医師の協力が得にくい状況です(熱心に協力してくれる上級医の存在が必要です)。
- Q. ヘパリン生食が感染のリスクになるとして院内での使用禁止になりました。入浴時、離床時には生食ロックを行っていますが、血栓→感染のリスクにならないのか心配です。
- Q. クローズルート(キャップを外したり付けたりを避け)を進めたほうがいいのでしょうか。
- Q. 高齢な患者さんが対象の病院のため、感染が致命的になりえます。また、病院自体が認知メイン→医療療養型病床へと変更してきており、安全でエビデンスに基づいた方法を導入するチャンスだと考えているので、具体的なエビデンスやガイドラインを知る機会やHP等があればぜひ教えてください。
- Q. 当院ではこれから取り組むところなので、指導者をいかに育成するかが問題だと思います。

す。院内の別のセミナーが必要なのか、院外の公的な機関が必要なのか、そのために利用できる制度があれば教えてください。

Q. CVC挿入部の剃毛はしたほうがよいですか？

* 回答はHPからご覧ください。

[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「相談室」](#) → [「目標別Q&A/目標3」](#)

* 行動目標に関して皆さまから寄せられる質問のうち、よくいただく質問と支援チームからの回答を目標別に公開ページに掲載しています。

* 内容によってはパートナーズ専用ページ(非公開、参加登録病院が対象)のみに掲載いたします。

ひとことアドバイス

周術期肺塞栓症の予防(目標2)

弾性ストッキング装着時の注意、 および静脈エコーのすすめ



三重大学医学部附属病院
循環器内科 講師 山田 典一

◇ 弾性ストッキング — 装着さえしておけば大丈夫と思わないで

普段から静脈血栓塞栓症予防目的で、多くの患者さんに弾性ストッキングを用いられていることと思います。しかし、今一度、弾性ストッキングの静脈血栓予防効果だけでなく、装着時の合併症にも十分に注意してください。

静脈血栓発生のリスクが高い症例に対する弾性ストッキング装着による予防効果は限られているので、装着さえしておけば血栓は生じないとするのは大きな間違いです。リスクに応じた間欠的空気圧迫法や薬物予防など適切な予防法を、合併症のリスクも考慮したうえで採用してください。

また、漫然とストッキングを装着しておくのではなく、誤った装着をしていないかということや、装着による皮膚変化や血流障害など合併症に対しても気を配り、発生がみられれば、他の予防法に変更するなど、早期の対応を心掛けてください。

◇ 歩行開始前の静脈エコー — 簡便な安全策

すでに行われている施設も多いと思いますが、特にリスクの高い症例や、リスクに応じた予防法が合併症の危険性があるために十分に行えなかった場合など、気になる症例に対しては、安静臥床解除後の初回歩行やリハビリを開始する前に、簡便かつ非侵襲的な静脈エコーでの確認が有用です。下肢の腫れや痛みといった症状がまったくない状態で、大きな血栓が生じていることも少なくありません。検査室で行えればいいのですが、技師さんに余裕がなければ、ベッドサイドでも短時間で簡単に行えます。もし遊離したら大きな肺血栓塞栓症につながりかねない鼠径部と膝窩部だけでも静脈エコー圧迫法を用いて血栓の有無を確認できれば、院内肺血栓塞栓症発症予防に役立つと思います。下腿部血栓の診断はかなり経験が必要ですが、膝窩部や鼠径部の観察は比較的簡単で、慣れれば2~3分もあれば確認できます。

* ひとことアドバイスは、[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「相談室」](#) → [「ひとことアドバイス」](#) からご覧ください。

フォーラム・セミナー等のスケジュール

- 9月26日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズ
アプローチ入門⑤
- 10月1(金)・2日(土) ▶ 第12回フォーラム「医療の改善活動」全国
大会in名古屋
- 10月3日(月) ▶ 石川フォーラム
- 10月13日(水) ▶ 静岡「医療安全管理シンポジウム」(西部地区)
- 10月16日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター旭川講習会
- 10月30日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター東京講習会
- 11月8日(月) ▶ 静岡「医療安全管理シンポジウム」(中部地区)
- 11月16日(火) ▶ 静岡「医療安全管理シンポジウム」(東部地区)
- 11月26日(金)・27日(土) ▶ 全国フォーラム
- 11月27日(土)・28日(日) ▶ 第5回医療の質・安全学会学術集会

★ウェブマガジンWhat's on, Kyodokodoは第1・第3金曜日に配信します
院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”
ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室
E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>